

地域の課題（身近な困り事など）の解決に向けた意見交換のための「たたき台」資料

No	神楽まちづくり推進プログラムの分野	地域の課題 （身近な困り事など）	課題の要旨	課題解決を妨げる要因	課題解決に向けた第1歩
1	福祉、子育て、健康づくり、地域の支え合いの強化	歩道（通学路）の除雪	ブルドーザーが雪を置いていくなど、歩道に雪が堆積したままとなり、小学生が登下校時に車道を通行しなければならないため危険。	除雪事業者の作業方法等。	市の担当部局（土木事業所）に相談する。
2		小学生登下校時の見守り	神楽岡小学校の登下校時において、児童の約7割が踏切や、国道を横断すること、また、通学路にある郵便局への路上駐車等、危険が多いにも関わらず、保護者等の見守りが少ない。	共働きの保護者が多く見守りに参加しづらい。 通学路上の神楽岡郵便局（神楽岡6条14丁目2-9）に駐車場が少ないため路上駐車が多く、通学に支障をきたしている。	保護者や、地域住民へ協力の呼びかけ等を強化する。
3		高齢者等の外出時の交通アクセス（路線バス）	氷点橋、クリスタル橋の完成に伴い交通の便は良くなったが、路線バスが減便し不便になった。	公共交通利用者数の減少や、運転手不足等の交通事業者の環境の変化。	不便な地域の現状確認。 市の担当部局（交通空港課）に相談する。
4		高齢者（独居者）困り事の把握	高齢者（独居者）になると困り事が増えるので、その把握をするにあたり、高齢者へのアンケート調査を神楽民児協で実施しており、まち協にも協力してほしい。	まち協の対象地域が広いため、対象者の選定、アンケートの配布・回収作業の人員不足。	地域や関係団体（市民委員会、地区社協、包括支援センター等）への相談。
5		高齢者の生存確認	高齢者になると、外出したがいらないなど孤立することが多く、地域住民同士でも、お互いの生存の確認ができない。	近所付き合い（人間関係）の希薄化。 外出しないことによる、地域住民とのコミュニケーション不足。	近隣住民同士の声掛けなどにより、コミュニケーションを図る。
6	基本的な生活環境の確保、環境保全、事故・犯罪の防止、防災	国道沿いの街路樹等の雑草	国道237号線道路沿いの街路樹の下や、歩道と車道の間の縁石部分について、雑草が生い茂っており景観を損ねている。	作業人員の確保、道路管理者との調整が必要。	道路管理者に相談する。
7		町内会で実施する雨水管汚泥除去作業	町内会で自主的に行っている、南校川周辺の雨水管の汚泥除去作業について、マンホールの蓋が重く高齢者等が作業を行うには危険。	実施責任の所在があいまい。 （本来どこが担当すべき作業なのか）	市の担当部局（土木部）に相談し、市と町内会（市民委員会）で対応協議する。
8	郷土愛や誇りの醸成・コミュニティ活性化（世代間交流）	町内会役員の高齢化	町内会役員の高齢化が進んでおり、若い人たちとの世代交代をどのように図るか。	若い世代は共働きの多く、事業や会議等に参加しづらい。 役員等の役割の周知不足。 世代による意識の違い。	町内会活動の参加を呼びかけ、若い世代とコミュニケーションを図る。 町内会の意義や役割等を周知する。